

一般社団法人 富山県建設業協会  
会 長 竹内 茂 殿

富山県農林水産総合技術センター  
所 長 鶴山 元紀  
(公印省略)

平成30年度試験研究成果発表会及び講演会の開催について (ご案内)

日頃から、当センターの研究の推進にご支援とご協力をたまわり、厚く御礼申しあげます。

この度、平成30年度の木材研究所試験研究成果発表会及び講演会(富山県森林・木材研究所振興協議会との共催)を下記のとおり開催いたします。業務ご多忙の折りとは存じますが、ご出席くださいますようご案内申し上げます。併せて協会の皆様方にもご案内いただけたら幸いです。

記

1. 日 時 平成 30 年 10 月 12 日 (金) 13:30~16:30
2. 場 所 富山県農林水産総合技術センター 木材研究所  
管理棟 2 階研修室 (〒939-0311 射水市黒河新 4940)
3. 試験研究成果発表会のテーマ及び発表者  
(1) 木製摩擦接合を用いた高減衰壁の開発  
木材研究所 木質構造課 副主幹研究員 若島 善朗  
(2) 圧縮木材を活用した耐震面格子壁の開発  
木材研究所 木質製品課 副主幹研究員 藤澤 泰士
4. 講演会  
「建設事業における木材の新たな利用拡大技術」  
飛島建設株式会社 木材・地盤ソリューション G 部長 沼田 淳紀 氏
5. 発表及び講演会の内容 別紙のとおり
6. その他 車でご来場される方は、研究所構内の駐車スペースに駐車してください。
7. 申込み・ 木材研究所 担当：中紙  
問合せ先 TEL 0766-56-2915 FAX 0766-56-2816  
※参加ご希望の方は、10月5日(金)までに下記の申込書に必要事項をご記入の上、  
このままFAXしてください。

平成 30 年度試験研究成果発表会及び講演会参加申込書 (FAX 0766-56-2816)

御所属		御氏名	参加予定人数 ( ) 名
連絡先	住所		
	TEL		
	FAX		

# 成果発表及び講演の内容

## 1. 発表

13:45～14:15

### (1) 木製摩擦接合を用いた高減衰壁の開発

木材研究所 木質構造課 副主幹研究員 若島 嘉朗

木造建築において部材を組み合わせる接合部は不可欠なものであり、その構造性能も接合部によるところが大きい。このため、耐震性能が重要となる我が国では建物の脆性破壊を避けるため、木材のめり込みなどを用いて接合部に靱性が求められる。しかし、木材のめり込みは木材の破壊を伴うため、地震のような繰返し加力にはエネルギー吸収の点で不利となる。

そこで、当研究所では木質構造においてこれまで実現されていなかった木製摩擦接合について検討した。摩擦接合は高い剛性とエネルギー吸収能力を持つのが特徴で、この接合を用いた壁は高い減衰性能を発揮することができる。本発表では、木製摩擦接合部の可能性とこれを用いた壁の性能について報告する。

14:20～14:50

### (2) 圧縮木材を活用した耐震面格子壁の開発

木材研究所 木質製品課 副主幹研究員 藤澤 泰士

神社などの伝統建物の改修に多く用いられる面格子壁は、経年変化により格子間に隙間が生じるため、耐震性に必要な「初期剛性」が低く評価されてしまう問題がありました。この問題を解決するため、格子壁の隙間に「圧縮木材」を挿入した耐震面格子壁を開発しました。挿入した圧縮木材は常に膨張しようとするため、格子間に隙間が生じることがなく、初期剛性を高めることができます。今回は、圧縮木材の性能と耐震面格子壁の実施工（護国神社大拝殿耐震改修工事）について報告する。

(休憩)

## 2 講演

15:00～16:30

### 「建設事業における木材の新たな利用拡大技術」

飛島建設株式会社 木材・地盤ソリューションG 部長 沼田 淳紀 氏

建設事業における新たな木材の利用技術として、丸太を地中に打設し液状化対策を行う地盤改良技術を紹介する。この工法は、単に木材の利用量を拡大するというだけではなく、深刻化する地球温暖化を社会基盤の整備を進めながら緩和させていく具体策です。

講演では、研究の背景、工法の原理、適用事例、工法の意義などについて説明する。